

# I. C. W. A. NEWS

第 26 号

昭和 59 年 1 月 1 日より、この責任者 杉山龍丸

福岡市中央区大名 1 丁目 12 番 24 号

国際文化福祉協会出版局

〒810 TEL (092) 771-0427

謹んで新年の御慶びを申しあげます。

国際文化福祉協会は、世界の国民生活と産業技術の指導を行い、地球上の大陸の 50% に及びつつある、砂漠化に対して、解決する方法、砂漠緑化を植林によって行い、日本にある世界唯一の治山治水の植林による方法に科学的根拠を興えて、世界人類の生きる問題に貢献する時機が来ました。

現在の世界は、国際協力基金・世界銀行・各地域開発銀行等の世界機構においての援助は、大地に生きる国民生活と産業の技術の問題において、欠陥があり、資金不足となりつつあります。

また、砂漠化の問題は現実に米国・オーストラリア・インド・アフリカ各大陸に及び、異常天候と共にソ連の食糧生産不振となり、

今や全世界人類の食糧難の時代が到来する事になりました。

我々は、この世界人類の問題にこの 30 年蓄積した研究・調査・実施の経験と解決成功の実績を生かす時機が来たと考えます。

皆様の一層の御支援と御協力を願いします

# 2ND INTERNATIONAL RANGELAND CONGRESS



P.J.Joss  
Secretary  
International Culture & Welfare Association  
24-12-1 Chome Daimyo,  
CHUOKU FUKUOKA  
JAPAN - 810

6th October, 1983

Secretary:  
P.J.Joss,  
CSIRO,  
Rangelands Research Centre,  
Private Bag,  
DENILIQUIN, NSW 2710  
Australia.  
Phone 058 81 1133  
A.R. 058 81 1715  
Telex: 55457.

Mr. T. Susivama,  
International Culture & Welfare Association;  
24-12-1 Chome Daimyo,  
CHUOKU FUKUOKA  
JAPAN - 810

Dear Mr. Susivama,

Thank you for your letters of 28 September.

I made some minor grammatical corrections to your paper and it is quite comprehensible and acceptable for the publication.

You are correct in saying that the Congress is not sponsored by the Australian Government - it is being organized by the Australian Rangeland Society - naturally the various Government Departments interested are kept informed.

I will again send details to the Embassy of Japan and the Australian Embassy in Tokyo with a short letter of explanation.

Dr. Wilson will comment on the Training Centre proposal, for the Australian Government, after he has discussed it with you in Adelaide.

Yours faithfully,

PETER J. JOSS  
Secretary

- オーストラリアの第2回国際砂漠会議は、国際文化福祉協会の論文を公式に世界に発表することを、日本政府及びオーストラリア政府に連絡した。

また、この会議において国際砂漠緑化センターの設立を具体的に協議する事になった。

- 目下、国際文化福祉協会より、この国際砂漠緑化センターの基本構想計画を提出して、研究を行っている。

（左記の手紙は 2nd International Rangeland Congress よりのものである）

- 日本政府農林水産省は、砂漠緑化問題に関しては日本政府に、科学技術上の研究・調査・実施の分野のものが何も無いので審議不可能という通知があった。

国際文化福祉協会は、昭和56年7月～12月の間、外務省経済協力局開発協力課を通じて財団設立の申請を行い、農林水産省国際協力課、林野庁指導部計画課において科学技術上の審議を受けたが、審議不可能であったので今般オーストラリアの 2nd International Rangeland Congress の審議の結果を知らせて、再審議の問い合わせをしたことにおいて上記の如き返事があり、財団法人国際砂漠緑化協会創立準備委員会の発足は民間ベースで自由であるとの事だったので、目下外務省においての決定を問い合わせ中である。

- 世界の人類に食糧危機が迫っている。この危機に国際文化福祉協会は国民生活と、産業技術の指導と、砂漠緑化の解決方法によって、救済に努力する事になる。

NHK のアメリカ農業の危機の問題は、直接日本の国民が生きる食糧の問題となりつつあることを知らせた。

世界はアメリカ・ソ連・オーストラリアの農業不作において、砂漠化は既に地球の全大陸の 50% に及んでいると考えねばならぬ。

我々人類は、残りの 50% の内 20% が極地寒冷地、また熱帯森林地であり、残りの 30% の内 15% が山地耕作不能の地域であるため、僅かに 15% の耕地で生きている状況である。

近代文明の行きづまりは、近代組織の崩解、行政改革を行わねばならぬし、また国際通貨、援助基金の危機変革を要求していることで、これが国防上の核装備強化につながり、国防問題となっている。核兵器や国防は、各国、国連の話し合いで使用せぬことで解決つくが砂漠化、食糧難は全世界人類の問題として、永久に子々孫々まで継続する問題である。

全人類が如何に生きるかの問題が問われ、解決しなければならぬ時機である。

国際文化福祉協会は、この問題の救済のため、解決方法を実際にやって成功

して来た。

皆様の御支援・御協力を是非お願いします。

このため、本年はオーストラリアの 2nd International Rangeland Congress に御支援をお願いします。

#### ○ 財団法人国際砂漠緑化協会創立準備委員会の予定について

日本政府、農林水産省の通知によって、民間ベースの財団設立は、政府の干渉なしに自由に行えるということであるが、外務省・大蔵省の規約を調査・交渉・確認の上具体化を行うことになる。

オーストラリア政府との協議によって基本方針を決定することになってゆく。

#### 財団法人国際砂漠緑化協会創立準備委員会の御案内

財団法人国際砂漠緑化協会を創立しまして、国際砂漠緑化技術訓練センターを日本及び各地域に設立するための募金、会員募集を行っています。

一般の方々は、金額にかかわらず一般会員になれます、芳名は永久に記録されます。詳細は、御問い合わせ下さい。